

# 医学教育分野別評価

## 2022 年度 年次報告書

医学教育分野別評価の受審：2018 年度（平成 30 年度）

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 2

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 34



令和 4 年 8 月

宮崎大学医学部医学科

はじめに

本学医学部医学科は、2018年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2019年6月1日より7年間の認定期間が開始した。医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.34 を踏まえ、2022年度の年次報告書を提出する。

なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2021年6月1日～2022年5月31日を対象としている。また、重要な改訂のあった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.34 の転記は省略した。

## 1. 使命と教育成果

### 改善した項目

1. 使命と教育成果	1.3 学修成果
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
	学修成果を周知するような取り組みを実施すべきである。
改善状況	
	「医学研究者育成コース」及び医学科3年生の「研究室配属」で得られた学修成果を周知する「研究成果発表会」の充実をはかり、継続的に実施した。
今後の計画	
	今後は、研究室配属において海外派遣となった学生についても成果発表会を実施する。
改善状況を示す根拠資料	
	資料1 令和3年度：医学研究者育成研究発表会プログラム

## 2. 教育プログラム

### 改善した項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学修成果と各科目の学修目標との関連について学内で合意を得て、意図する学修成果が得られるように学修成果基盤型カリキュラムを構築すべきである。	
改善状況	
1、2年次のカリキュラムを見直し、「基礎教育科目」と「医学科専門科目（専門基礎科目）／（基礎医学科目）」を統廃合し、「基礎教育科目」と「医学科専門科目（基盤形成科目）」に再編した。	
今後の計画	
宮崎大学医学部医学科基盤形成教育連絡協議会において、基盤形成教育課程の授業計画や成績評価等について検討を行い、基盤形成教育の一層の充実をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	
資料2 再編後の教育課程表	
資料3 宮崎大学医学部医学科基盤形成教育連絡協議会規程	

### 今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
学生が自分の学修過程に責任を持てるように能動的学修を推進すべきである。	
現在の状況	
入学から卒業までに学生が学ぶカリキュラムの俯瞰表を作成し、学生自らが現在地を確認できるようオリエンテーション等で配付した。	
今後の計画	
毎年実施しているアクティブラーニング実態調査及び英語を取り入れた授業調査の結果	

等をもとに、能動的学修に適した科目を中心に導入を推進していく。
<b>現在の状況を示す根拠資料</b>
資料4 令和4年度宮崎大学医学部医学科カリキュラム俯瞰表

**今後改善が見込まれる項目**

<b>2. 教育プログラム</b>	<b>2.1 プログラムの構成</b>
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
科目内での教育内容の順次性を学生が学びやすいかどうかの観点で見直すべきである。	
<b>現在の状況</b>	
科目毎に学生による授業評価アンケートを実施しており、授業のよかった点、改善を求めたいこと等を自由に記入できるようにしている。	
<b>今後の計画</b>	
このアンケートを継続して実施し、学生の意見を反映させていくことによって科目内の順次性が学生にとって学びやすいものとなっていく。	
<b>現在の状況を示す根拠資料</b>	
資料5 授業評価アンケート（例）	

**改善した項目**

<b>2. 教育プログラム</b>	<b>2.1 プログラムの構成</b>
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
同時期に行われる科目同士の教育内容の順次性を見直すべきである。	
<b>改善状況</b>	

宮崎大学医学部教務学生連絡協議会において、学生会執行部が実施したカリキュラムアンケートの結果を教務委員会委員長が聞き取り、その内容を加味したカリキュラム改編を行った。
<b>今後の計画</b>
今後も学生会執行部との意見交換やカリキュラムアンケートの結果を聞き取り、学生にとって学びやすいカリキュラムとなるよう改善していく。
<b>現在の状況を示す根拠資料</b>
資料6 令和3年度第4回教務学生連絡協議会議事要旨 資料7 令和3年度医学科カリキュラム追加アンケート集計結果

**改善した項目**

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
<b>改善のための助言</b>	
「早期大学病院実習」、「早期地域医療実習」、あるいは「公衆衛生学実習」など、患者・住民と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
<b>改善状況</b>	
インフルエンザ流行時期を前に、クリニカル・クラークシップⅠ・Ⅱに参加する臨床実習生を対象にインフルエンザワクチンを接種し、これと並行して新型コロナワクチンの3回目接種を実施した。	
<b>今後の計画</b>	
今後も新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	
<b>改善状況を示す根拠資料</b>	
資料8 令和3年度：臨床実習生対象：インフルエンザワクチン接種要項 資料9 新型コロナワクチン接種3回目接種について	

**改善した項目**

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
基本的水準 判定：部分的適合	

<b>改善のための助言</b>
学生がより学びやすいように、科目の順序や科目間のバランスを見直したカリキュラムを構築し、明示すべきである。
<b>改善状況</b>
宮崎大学医学部教務学生連絡協議会において、学生会執行部が実施したカリキュラムアンケートの結果を教務委員会委員長が聞き取り、その内容を加味したカリキュラム改編を行った。
<b>今後の計画</b>
引き続き、バランスのとれたカリキュラムの構築に取り組む。
<b>改善状況を示す根拠資料</b>
資料6 令和3年度第4回教務学生連絡協議会議事要旨 資料7 令和3年度医学科カリキュラム追加アンケート集計結果

#### 今後改善が見込まれる項目

<b>2. 教育プログラム</b>	<b>2.6 プログラムの構造、構成と教育期間</b>
基本的水準 判定：部分的適合	
<b>改善のための助言</b>	
学年進行に沿って学修深度が増し、基礎・社会医学・臨床医学にわたる垂直的統合を医学部カリキュラム委員会が調整することが望まれる。	
<b>現在の状況</b>	
宮崎大学医学部医学科基盤形成教育連絡協議会と同・臨床講義連絡協議会による合同の説明会を開催され、それぞれの科目の概要や協議会の目的等について説明があった。さらに、それぞれの会議が抱える課題を定期的で開催する両会議による合同会議で解決策を検討することになっている。	
<b>今後の計画</b>	
学年進行に沿って学修深度が増し、基礎・社会医学・臨床医学にわたる垂直的統合について議論を深め、医学部カリキュラム委員会においてカリキュラム案を審議・調整していく。	
<b>改善状況を示す根拠資料</b>	

資料10 医学科基盤形成教育連絡協議会及び臨床講義連絡協議会に関する説明会  
次第

改善した項目

2. 教育プログラム	2.8 臨床実践と医療制度の連携
基本的水準 判定：適合	
改善のための示唆	
卒業生が将来働く環境からの情報や地域や社会の意見を取り入れて、カリキュラム委員会が教育プログラムの改良を進めることが望まれる。	
改善状況	
教育カリキュラム評価委員会に学外委員として弁護士を招き、外部の視点から審議に参加していただいている。	
今後の計画	
引き続き、卒業生が将来働く環境からの情報や地域や社会の意見を取り入れて、カリキュラム委員会が教育プログラムの改良を進めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
資料11 令和4年度教育プログラム評価委員会委員名簿	

3. 学生の評価

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
評価をより精密に吟味するために、外部の専門家の参画を促すべきである。	
改善状況	
学生の臨床実習を含む臨床教育に協力する学外の医療機関等において、豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力及び教育能力を有する医療人に対して臨床教授等の称号の付与し、臨床教育の指導体制を充実させている。	

<b>今後の計画</b>
評価をより精密に吟味するために、外部の専門家が積極的に参画できる取り組みを継続していく。
<b>改善状況を示す根拠資料</b>
資料 1 2 宮崎大学医学部医学臨床教授等の称号付与規程

**改善した項目**

<b>3. 学生の評価</b>	<b>3.1 評価方法</b>
<b>基本的水準</b>	判定：部分的適合
<b>改善のための助言</b>	
評価方法の信頼性と妥当性を組織的に検証し、明示することが望まれる。	
<b>改善状況</b>	
宮崎大学教育委員会と連携し令和3年度に実施した授業科目の成績分布を調査し、厳格な成績評価が行われているか教務委員会において検証した結果、特に問題がある科目はなかった。	
<b>今後の計画</b>	
今後もこの取組みを継続し、評価方法の信頼性と妥当性を組織的に検証する。	
<b>改善状況を示す根拠資料</b>	
資料 1 3 第4回宮崎大学医学部教務委員会議事要旨	

**改善した項目**

<b>3. 学生の評価</b>	<b>3.1 評価方法</b>
<b>基本的水準</b>	判定：部分的適合
<b>改善のための助言</b>	
外部評価者の活用を進めることが望まれる。	
<b>改善状況</b>	



<p>学生の臨床実習を含む臨床教育に協力する学外の医療機関等において、豊富な臨床経験を有し、優れた臨床能力及び教育能力を有する医療人に対して臨床教授等の称号の付与し、臨床教育の指導体制を充実させている。</p>
<p><b>今後の計画</b></p>
<p>今後も外部評価者の活用を進める取り組みを継続していく。</p>
<p><b>改善状況を示す根拠資料</b></p>
<p>資料 1 2 宮崎大学医学部医学臨床教授等の称号付与規程</p>

#### 改善した項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
<p>基本的水準 判定：適合</p> <p>学生の支援に必要な資源を配分しなければならない。</p>	
<p>改善のための助言</p>	
<p>なし</p>	
<p>改善状況</p>	
<p>新型コロナウイルス感染拡大によって保護者からの仕送りやアルバイトの収入が減少し、生活が困窮している学生へ修学支援の一環として食料品やマスクを配付した。</p>	
<p>今後の計画</p>	
<p>今後も学生の支援に必要な資源を配分することに努めていく。</p>	
<p>改善状況を示す根拠資料</p>	
<p>資料 1 4 令和 3 年度修学支援物資案内</p>	

## 4. 学生

#### 改善した項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
<p>基本的水準 判定：適合</p>	
<p>改善のための助言</p>	

<p>低学年での留年率を改善するために、学修上の問題を抱える学生に対する支援体制を強化すべきである。</p>
<p><b>改善状況</b></p>
<p>学期毎のG P Aや1年次で履修する基礎教育科目の単位修得状況等から、学業不振の状況及び長期欠席等の問題を抱える学生を早期に把握し、面談を行うなど対応している。</p>
<p><b>今後の計画</b></p>
<p>今後も低学年での留年率を改善するために、学修上の問題を抱える学生に対する支援体制を強化していく。</p>
<p><b>改善状況を示す根拠資料</b></p>
<p>資料15 学業不振の状況及び長期欠席等の問題を抱える学生の把握と対応に関する調査</p>

#### 今後改善が見込まれる項目

4. 学生	4.4 学生の参加
<p>基本的水準 判定：部分的適合</p>	
<p><b>改善のための助言</b></p>	
<p>教育プログラムの管理に係る委員会に学生が参画すべきである。</p>	
<p><b>現在の状況</b></p>	
<p>教育プログラム評価委員会においては、学生会会長が委員として参加し、医学部の教育プログラム全般の評価に関する審議に加わっている。</p>	
<p><b>今後の計画</b></p>	
<p>現在、学生会からは会長が委員として参加しているが、さらに副会長（1人）も参加できるよう規程を改正する。今後も教育プログラムの管理に係る委員会に学生が参画できるようにする。</p>	
<p><b>改善状況を示す根拠資料</b></p>	
<p>資料11 令和4年度教育プログラム評価委員会委員名簿</p>	

### 改善した項目

4. 学生	4.4 学生の参加
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
学生に関する諸事項に関する委員会に学生が参画すべきである。	
改善状況	
宮崎大学医学部教務学生連絡協議会のほか、全学の教育の企画・調整及び学生生活における環境等の改善に資することを目的として設置された宮崎大学教育・学生支援センター学生連絡協議会に医学部学生が参画している。	
今後の計画	
今後も学生に関する諸事項に関する委員会に学生が参画できるよう支援していく。	
改善状況を示す根拠資料	
資料 1 6 宮崎大学教育・学生支援センター学生連絡協議会要項	

## 6. 教育資源

### 改善した項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
患者および学生の安全のために、患者と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
改善状況	
新型コロナワクチンの3回目接種を実施し、医学科学生（674人）のうち、262人に接種をした。	
今後の計画	
新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	

資料 8 令和3年度：臨床実習生対象：インフルエンザワクチン接種要項
資料 9 新型コロナワクチン接種 3 回目接種について

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.6 教育の交流
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
国内の他の教育機関との交流を積極的に進めるべきである。	
現在の状況	
東京慈恵会医科大学と包括的連携協定を締結し、2020年度（令和2年度）から臨床実習生を交換しており、さらに、長崎大学医学部と臨床実習教育の協力に関する協定を締結し、長崎大学に在学している宮崎県卒の実習生を本学部附属病院で受け入れることにしている。	
今後の計画	
今後も国内の他の教育機関との交流を積極的に進めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
資料17 長崎大学医学部と宮崎大学医学部の臨床実習教育の協力に関する協定書	

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.6 教育の交流
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
国内の交流を促進するために適切な資源を提供することが望まれる。	
現在の状況	

<p>東京慈恵会医科大学と包括的連携協定を締結し、2020年度（令和2年度）から臨床実習生を交換しており、さらに、長崎大学医学部と臨床実習教育の協力に関する協定を締結し、長崎大学に在学している宮崎県卒の実習生を本学部附属病院で受け入れることにしている。その際、約一ヶ月に及ぶ滞在期間中、実習生に宿舍の利用を提供している。</p>
<p><b>今後の計画</b></p>
<p>国内の交流を促進するために適切な資源を提供していく。</p>
<p><b>改善状況を示す根拠資料</b></p>
<p>資料17 長崎大学医学部と宮崎大学医学部の臨床実習教育の協力に関する協定書</p>

#### 今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
<p>基本的水準 判定：部分的適合</p>	
<p><b>改善のための助言</b></p>	
<p>課題として挙げられている「原級者（留年者）」数と国家試験合格率について、検討し対応すべきである。</p>	
<p><b>現在の状況</b></p>	
<p>教育プログラム評価委員会において、進級条件となっている試験と医師国家試験の結果との関係について検討を始めた。</p>	
<p><b>今後の計画</b></p>	
<p>引き続き、課題として挙げられている「原級者（留年者）」数と国家試験合格率について、検討を重ねながら対応していく。</p>	
<p><b>改善状況を示す根拠資料</b></p>	
<p>資料18 令和4年度第1回教育プログラム評価委員会次第</p>	

#### 改善した項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
<p>基本的水準 判定：部分的適合</p>	

<b>改善のための助言</b>
学生と教員からフィードバックを系統的に求めた上で、その結果を確実にプログラムの改善につなげることが望まれる。
<b>改善状況</b>
教務学生連絡協議会の定期開催を通じ、学生会がとりまとめた意見やアンケート結果が教員にフィードバックされる運営体制が整備され、学生会によるカリキュラムアンケートの結果が加味されたカリキュラムの改編案が作成され、教務委員会及び教授会での審議を経て令和4年度に実施された。
<b>今後の計画</b>
今後も教務学生連絡協議会を通じた連携を強化し、学生からのフィードバックを系統的に求めてプログラムの改善につなげていく。
<b>改善状況を示す根拠資料</b>
資料6 令和3年度第4回教務学生連絡協議会議事要旨